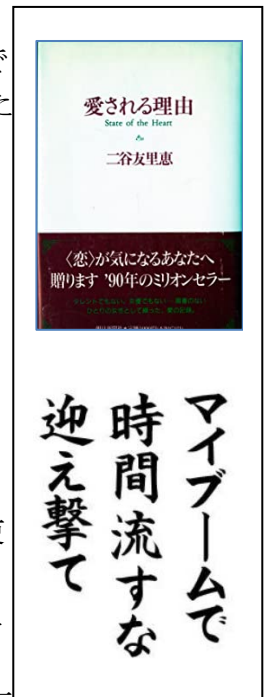


「寸暇」を大切に

1. 時間を流すな、迎え撃て

右上は、二谷友里恵さんの著書「愛される理由」(‘90年3月1日発売)です。当時、郷ひろみと二谷友里恵の結婚が話題になっていて、私はサラリーマンで勤務していた会社の女性から拝借して読んだのです。この本から感銘を受けたのは、父の英明氏から「時間を流すな、迎え撃て」と教わっていて、郷ひろみとのデートはムダな時間がなくて楽しかったと紹介していた事です。「時間」は誰もが1日24時間しかなく、過ぎ去ると取り戻せない貴重な物です。これに類似する話ですが、役員の中に「酒に酩酊する時間がもったいない」という方がいて、この言葉を胸にしまっていて独立後は可能な限り飲酒を控え、頂いても酩酊しないように心がけています。

右下は、ブログ「障子を開けよ！外は広い」に4月19日にアップした物です。(参照：<http://amiami.txt-nifty.com/blog/2023/04/post-5102b1.html>)最近、ハマっている「独り言川柳」で「時間を流すな、迎え撃て」を詠む際に「マイブーム」をその手段の一つとして詠んだ物です。誰にでも「寸暇」が出来ると思いますが、その時間の使い方によって人生が変わると思います。営業の方はお客様に会うのが仕事ですが、いつでも会えるという物ではないのです。営業員の「寸暇」の活かし方には、例えば、「ご近所まで来たのでご挨拶でお寄りしたいのですが・・・」という電話を入れて訪問先をメイクする方法や遠方のお客様にハガキを書いたりする方法等があります。最近の方はメールやSNSという方もいらっしゃると思います。これらは継続する事が大切でマイブームにならないと継続が難しいものです。

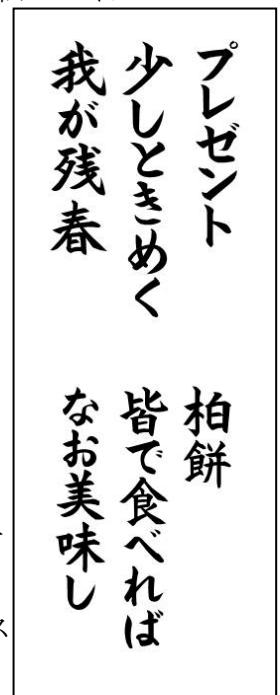


2. マイブーム

マイブームは和製英語でmy+boomで「自分の中で流行っている事」という意味です。「ハマっている」という表現も同じ意味です。例えば、上記の「寸暇」に関するマイブームでは、「ご近所まで・・・」の電話の場合、初めに電話する方を上手く選ぶと実現し易く、その結果、結果が出ると得意になって繰り返して自分流の「寸暇」活用法になるという構図になります。私のマイブーム「独り言川柳」は右上(<http://amiami.txt-nifty.com/blog/2023/03/post-3cd6fd.html>)が第1号で、3月8日に詠んでいます。「残春」という言葉で少し引き締まった川柳になっていると評価を頂いています。最近では、パワーポイントでテンプレートを作って詠み易くして、そのまま.jpgに変換してブログに挿入しています。文字が筆書き風なので気に入っています。(参照：<http://amiami.txt-nifty.com/>)

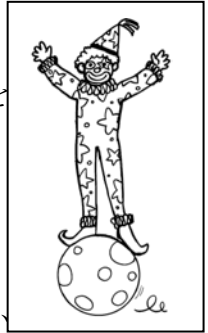
「ハマる」は「穴などにピッタリ」という意味のようですが、私は「次から次へ」と展開する状況も「ハマる」と考えています。ともかく川柳ですから季語などの知識が無くても詠めるので「面白い」と興味が湧いて折に触れて川柳にチャレンジしています。例えば、右下はGWになって老人会の茶話会で茶菓子に柏餅を出して喜ばれた風景を詠んだ心算です。笑顔が浮かんで来ると言って下さる方もいらっしゃるの少し気に入っています。

ともかく、その時々に応じて川柳を詠み、それをFaceBookやブログにアップして楽しんでいます。アクセス解析で見ると頁毎の平均滞在時間が計測されており、興味のバロメーターとしています。検索元はYahooやGoogle等の検索エンジンが約15%でFaceBookからも約15%と多いですが、ブログにアクセスして読まれるケースが約65%となっています。ブログのカウンターの上昇が物語っています。



3. タンゴは一人で踊れない

就職したトヨタ系販売店の上司から‘it takes two to tango’ (タンゴは一人で踊れない)を教わり、同時にコンピュータを担当する私に‘piero on the ball’ (ボールの上のピエロ)のように営業員が足を止めないように「Do指示」を出し、その実践具合を統計分析して業績向上策を考えるように指示されました。確かに、営業員は外勤なので時間管理が課題であり、営業所の電話代の大部分は営業所間の会話、すなわち、社員同士の会話という事も判明したのです。また、彼らが外出先で集合してファミレスなどで談笑しているという事も分かりました。つまり、社員同士が時間潰しに使っているという事であり、本当の意味で情報交換であれば救われる部分もありますが、大部分は「小人閑居して不善を為す」の状態であり、中には、競馬やボートレースなどの賭け事にハマって散財する営業員もいたのです。



これらの事から我が身を照らして「寸暇」の過ごし方が大切だと戒めています。創業の頃は仕事量も少ないので空いた時間の使い方が課題でしたが、お陰様でFaxDMの作成ノウハウ蓄積の為に発信を始めた「AMIコンサルティングFresh&Hot情報通信」(<https://web-ami.com/f&htushin/1.html>)の記事作成に空いた時間の大部分を費やしていました。その他、お客様とのコミュニケーションを図る電話は、相手が忙しくない時間帯を選んでかけるようにして、さらに、余り長時間にならないように要件を決めて電話する事を心掛けていました。

このように「仕事量の確保」が質的向上の解決策という考えを若い時に叩き込まれたので、今も「仕事」をメイクする事が会社の責任と考えています。最近では「インサイドセールス」と言って、管理側で情報をメイクして営業員に伝えてアプローチからクロージングの工程短縮を行なう時代になっています。ほぼ同じですが、サラリーマン時代はDo指示という概念で車検到来期のお客様データを中心にCR活動を行ない自社車検を多くする事で結果的に新車販売も増えるという考えのシステム構築していました。その流れで独立してコンサル・ツールとしてFaxDMやHTMLメールと時代の変化に合わせて来ました。つまり、「仕事量の確保」で営業員の空き時間を減らし業績向上につなげる改善活動が基本であり、現在もコンサルティングで実践しています。

4. 「寸暇」を大切に

この世は不平等な事が多いですが、時間は誰でも1日24時間しかないのです。そして、「時間」の過ごし方で人生が変わって来るのです。特に、「寸暇」の使い方次第では競馬やパチンコなどのギャンブルで身を亡ぼす方もいるので自分流の使い方を確立しておく事が重要です。昔ならハガキを書く事も寸暇の使い方でしたが、今やスマホ電話はかけ放題のメニューがあり、メールやLINEのような通信手段もあります。個人的な情報をFaceBookやブログなどのSNSにアップする時代なので、この方向の寸暇の活用法も重要になります。

私自身はメルマガ「AMIニュース」と「MMQC通信」の2本を毎週土曜日に発信するようになり、そのコンテンツづくりに「寸暇」を活用しています。この記事もその一つですが、855号とあるように単純計算では16年6ヵ月も継続しています。「量」⇒「質」という考えですが、ある一定数を超えるとレベルアップが見えなくなり、逆に、惰性で質の低下になって行きます。この現象を避ける為に定期的に「マイブーム」を起こして新鮮度を維持するようにしています。つまり、「鮮度」を実感しないと自分自身の満足度がないので「鏡の法則」で相手も満足できないのです。その「鮮度」の一つとして「楽しい」を基準にハマっている状況を発信するようにしています。

それにしても1000号まであと約3年、この間を元気に過ごして無事に1000号を達成したいと思っています。これから「寸暇」が多くなる傾向ですが、「鮮度」アップをする為にも「マイブーム」を起こして「楽しい」を発信して行きたいと思っています。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> にあります！】